

疾病予防と治療月間 リソースのご案内 (Disease Prevention and Treatment Month)

各資料名をクリックすると、電子版をご覧ください。印刷冊子をご入用の際は、[オンラインショップ/Rotary Shop](#) または出版物注文用紙よりご注文をお願い申し上げます。

< 出版物 >

➤ [ロータリーの重点分野](#) (資料番号：169) [印刷冊子：一冊 2.00 ドル]

ロータリー「6つの重点分野」の活動を総合的に紹介した冊子。各分野における世界的な課題、対するロータリーの取り組みをプロジェクト例や関わった方がたの声とともに紹介した、力強いビジュアルメインの冊子です。「疫病との闘い」分野における紹介は、12-15 ページをご参照ください。(2018年1月版)

➤ [ロータリーの重点分野ガイド](#) (資料番号：965) [電子版のみ]

ロータリー「6つの重点分野」をプロジェクト例とともに簡潔に解説したパンフレット。「疾病予防と治療」分野における紹介は、5-6 ページをご参照ください。(2015年5月版 ※2019年改訂予定)
※上記「169-JA ロータリーの重点分野」より、より簡潔にまとまったパンフレット形式の資料です。

➤ [2016-17 年度年次報告](#) (資料番号：187) [電子版のみ]

2016-17 年度の年次報告書。ロータリアンが世界に変化をもたらし、アイデアを広げ、生涯の友情を築く姿を紹介します。「疫病との闘い」分野での取り組みや支援者の紹介は、14-15 ページをご参照ください。(2017年11月版 ※2019年1月2017-18年度版出版予定)

➤ [ポリオに打ち克つ](#) (資料番号：329) [CD-ROM 入り電子版のみ：一部 5.00 ドル]

ロータリーの最優先事項：ポリオプラスプログラムの生い立ちから発展を綴った冊子の CD-ROM 版。ロータリーが「ポリオのない世界」の達成を目標に掲げるに至るまでの道のりを辿ります。著者は、インターナショナル・ポリオプラス委員会副委員長：ハーバート A. ピグマン氏です。(2005年2月版)

💡 End Polio Now 関連商品について詳しくは >> [こちら](#)

ポリオプラスの
生い立ちを学ぶ!

< RI ページ >

➤ [疫病との闘い](#)

「質の高い医療を受ける権利はすべての人にある」。人びとを苦しめる病気の蔓延を食い止め、予防の徹底に力を尽くす医療分野での RI 活動紹介ページです。

< [ウェブ掲載記事](#) >

世界ポリオデーでのご活動
ありがとうございました！

> [感謝ビデオ](#)

 ▶ [『ワールド・フード+ふれ愛フェスタ』は今年も大盛況](#)

第2670地区主催のファンレイジングイベントは、10月27-28日に第6回を迎えました。今年は約7万人の来場者を記録し、「ポリオ撲滅大使」のジュディ・オング氏と共に過去最高のご寄付を集めてくださいました。収益金では、教育支援ユニットをパキスタンの教育支援事業としてご寄贈していただきます。(2018年11月、Rotary Voice ページより)

映像：Two Drop of Patience
ロータリーのVR > [こちら](#)

 ▶ [すべての山に登る](#)

ウガンダのローターアクター：ペイシェンスさんは、アクセスの悪い圧倒的貧困地域：ウガンダとケニアの国境にある山間の集落にてポリオの予防接種活動に参加しました。この体験から彼女は、「誰かを病気から守り、幸せになるチャンス与えた」、とても意味のある経験を得たと話します。(2018年10月、Rotary ニュース・特集記事ページより)

第6回世界ポリオデー
ライブ配信 > [こちら](#)

 ▶ [世界ポリオデー 歴史的パートナーシップと成果を称えあう](#)

ロータリーの世界ポリオデーイベントは、10月24日米国・フィラデルフィアで第6回を迎えました。パートナー団体の代表者がこれまでの成果と今後の戦略的課題を語るとともに、世界各地でのクラブの活動が紹介されました。参加者は「全世界でこの病を撲滅する」という共通の課題を改めて誓いました。(2018年10月、Rotary ニュース・特集記事ページより)

 ▶ [笑顔の理由](#)

ロータープラスト (Rotaplast) は、口唇口蓋裂や他の先天性欠損症がある子どもの医療支援を実施するチリのロータリアン主導プログラムです。国境を越えた医療チームは、地元で治療を受けることが困難な人びとを対象に難しい手術に取り組み、彼らの「スマイル」を取り戻しています。(2018年8月、Rotary ニュース・特集記事ページより)

グローバル補助金
申請のヒント > [こちら](#)

 ▶ [ボリビアでの水頭症プロジェクト](#)

ボリビアのロータリアン・長谷川氏は、貧しい家庭の「水頭症」患者が資金不足のため治療が受けられず、途方に暮れる姿を見て立ち上がりました。彼の粘り強さと工夫で実現した補助金プロジェクトでは、約20年にわたり通算1004人の患者に治療に必要なバルブを提供し、命を救いました。(2018年7月、Rotary Voice ページより)

■ [Rotary ニュース・特集記事ページ](#)は > [こちら](#)

■ [Rotary Voice ページ \(日本語\)](#) は > [こちら](#)

< 映像資料 >

 ▶ [ガーナでよいことをしよう](#)

ブルーリ潰瘍は主に手足に奇形をもたらす水を介した感染症です。ガーナでは、きれいな飲み水にアクセスできない人びとがこの感染症の危険にさらされていました。現地のロータリアンは、財団の力を借りて現地の人びとでの運営を目標とする井戸建設に乗り出します。

(2014年) [日本語、4分14秒]

 ▶ [ウクライナでよいことをしよう](#)

ウクライナ・キエフでは1990年代に入っても最新の医療器材不足のため、多くの子どもが心臓疾患で命を落としていました。ロータリーの提供した機材は、心臓疾患で亡くなっていたであろう約1,400人の子どもを救いました。

(2012年) [日本語、3分15秒]

 ▶ [La Halte Répit: ALZHEIMER'S](#)

フランス、ポール・ラ・ヌベールのロータリアンは会員家族のアルツハイマー発症をきっかけに、患者とその家族のためにデイケア施設を開設しました。週に一度患者を受け入れることで、介護につきまわりの家族に休息を与え、患者同士にはふれあいの場を提供しています。

(2012年) [日本語、6分43秒]

 ▶ [世界でよいことをしよう：疫病と闘う](#)

ウガンダでは、HIV/エイズ人口が120万人以上、HIV/エイズ孤児も120万人以上に上ります。両親の死を乗り越え懸命に生きる孤児の子どもたちが多くいます。現地のロータリアンは、物理的理由で病院に通えない子どもの家に足を運び、医療を提供しています。

(2011年) [日本語、2分41秒]

 ▶ [The Last Hurdle: Polio in India](#)

「ポリオのないインド」。2005年、インドはポリオ解放寸前でしたが、衛生環境が悪い地域を中心に事態は悪化します。通常の予防接種に加えて免疫力を補強するため、ロータリーはパートナー団体と協力し、そして国を挙げて予防接種に取り組みました。2014年、インドは「ポリオフリー」と認定されています。

(2011年) [日本語字幕、7分31秒]

～ New! ポリオ撲滅関連動画 ～

 ▶ [Tiwa Savage PSA](#)

「今こそ行動を起こすときです。」アフリカでのポリオ撲滅活動にフォーカスを当てながら、現地出身のロータリーポリオ大使が撲滅を呼びかけます。

(2018年) [日本語字幕、52秒]

! WHOよりポリオ「ワクチン」についての映像

 ▶ [2種類のポリオワクチン](#)

(2018年) [日本語字幕、2分00秒]

 ▶ [ワクチン由来のポリオウイルス](#)

(2018年) [日本語字幕、1分59秒]

 ■ Vimeo RI ページ (日本語) は» [こちら](#)